

31 地場産品

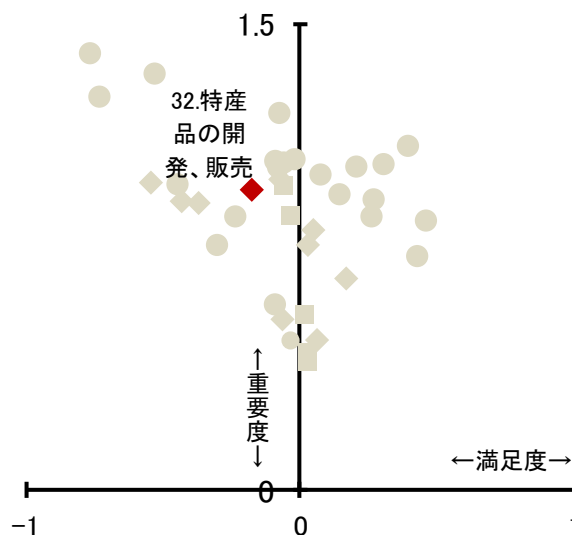
(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度・重要度

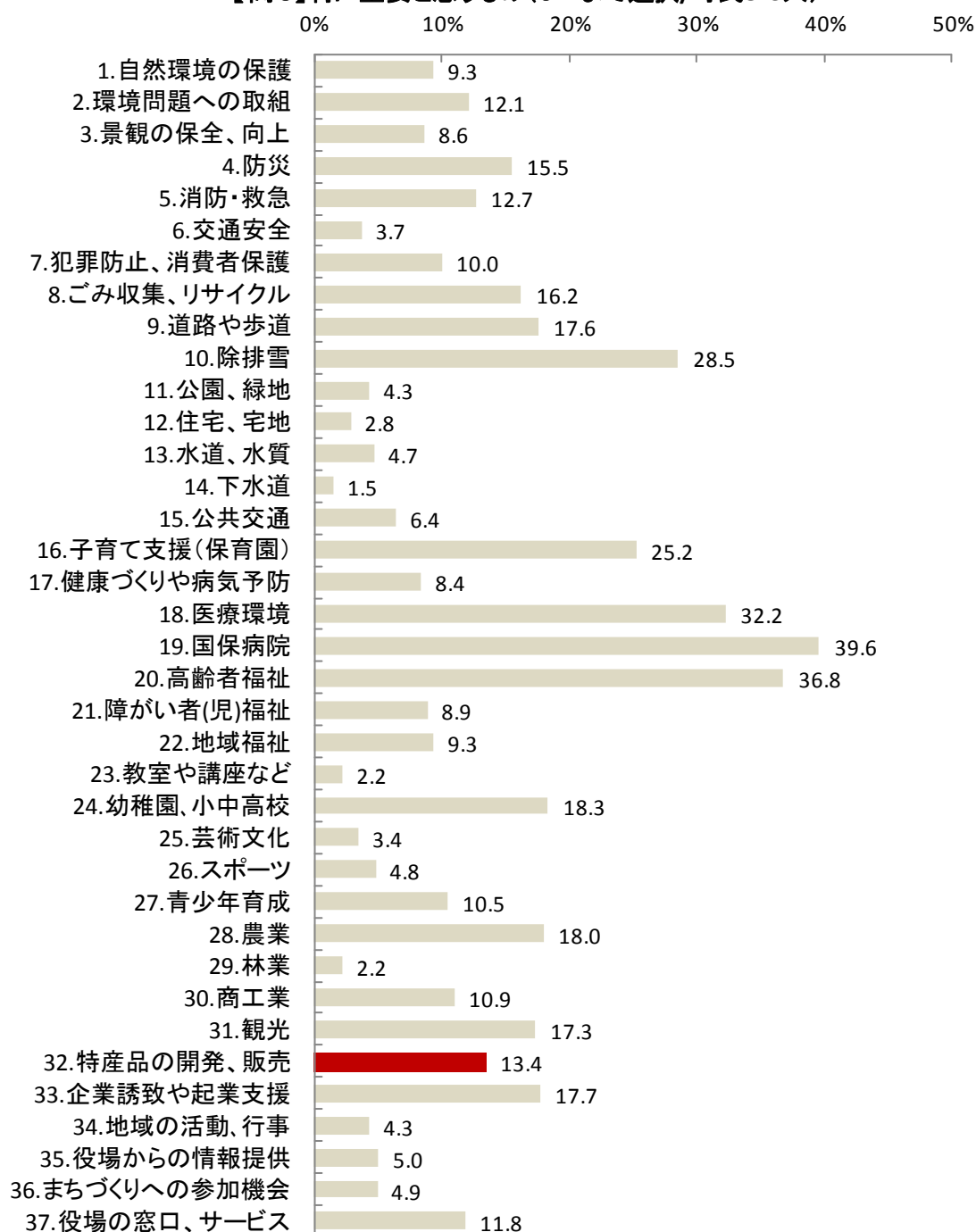
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問3】特に重要なもの

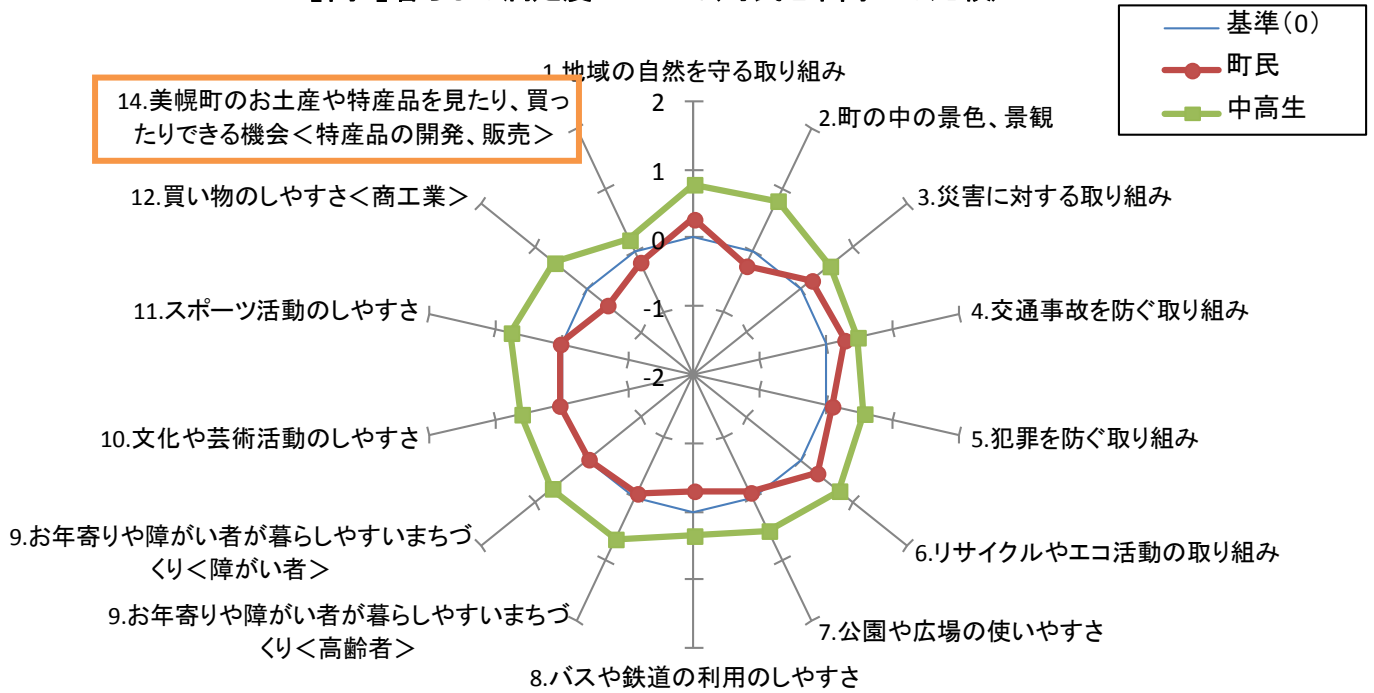
問2と同じ37項目の中から、
特に重要と思う項目を
5つ選んでもらった位置づけです。



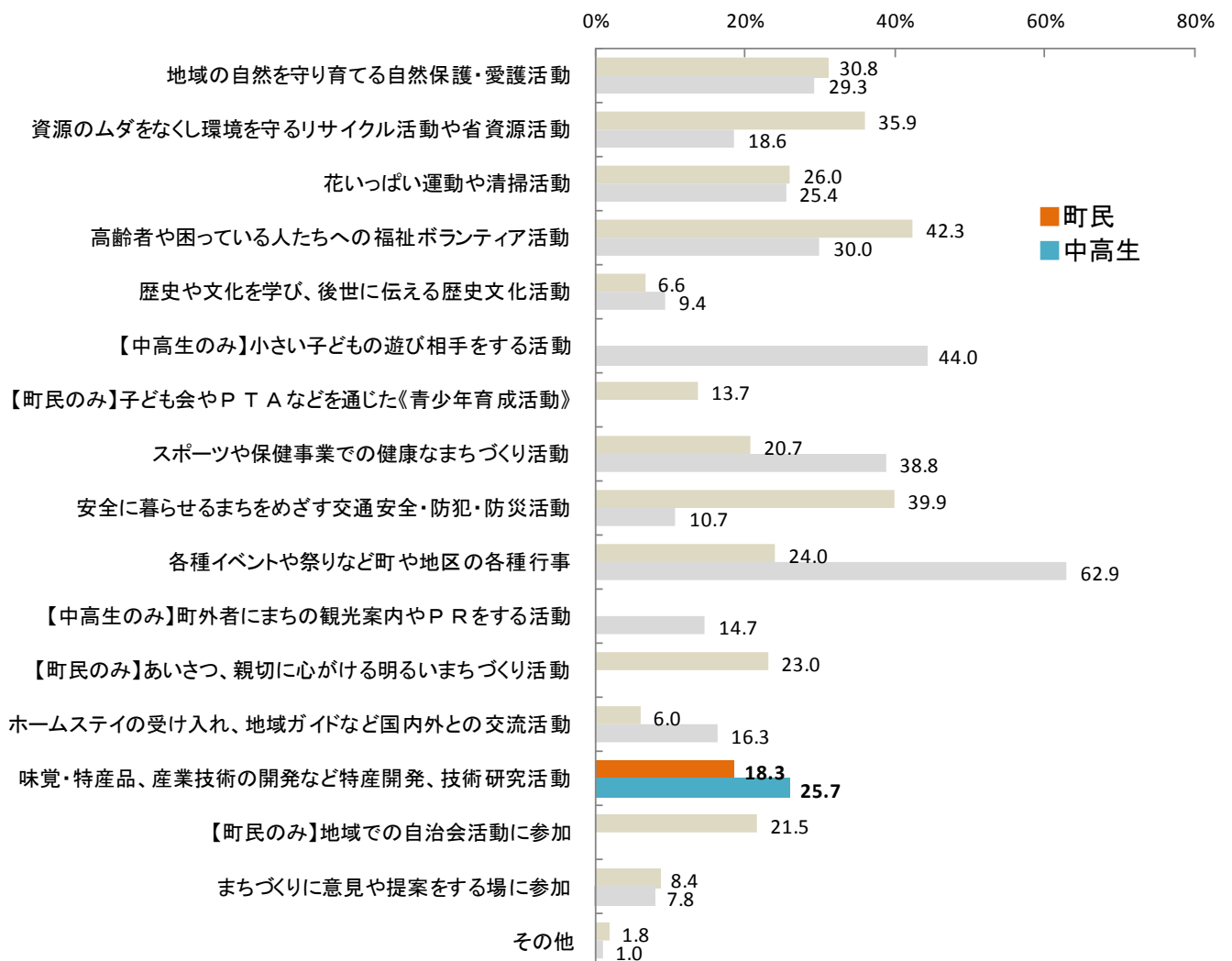
【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)



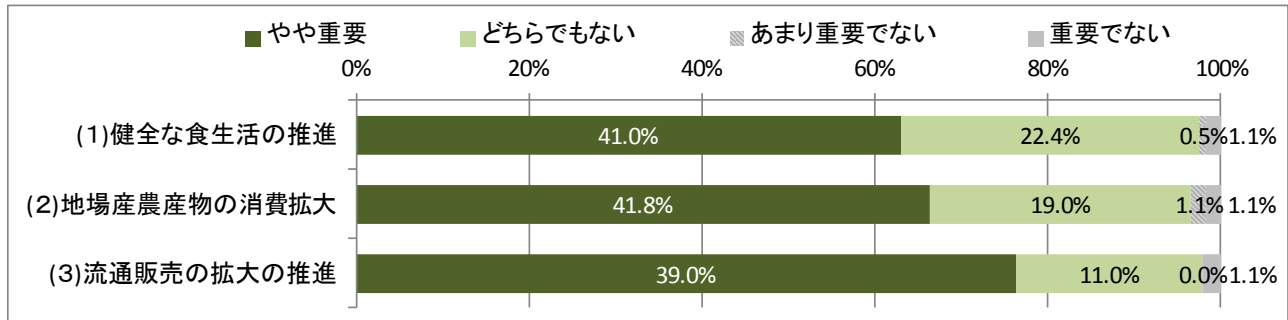
【問2】暮らしの満足度について(町民と中高生の比較)



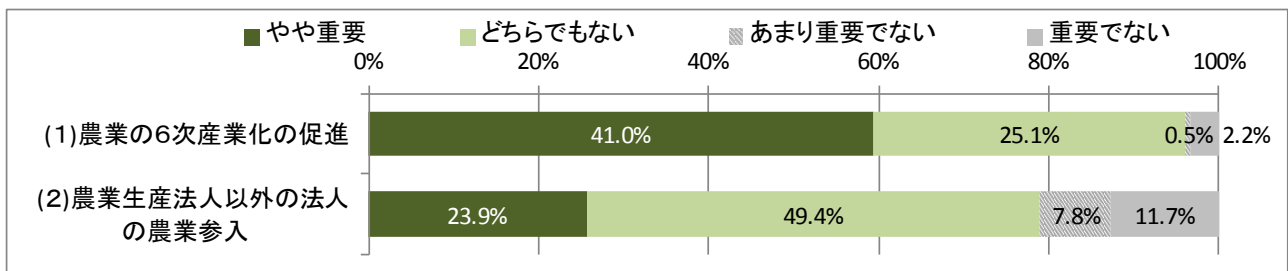
【問7】参加したい(できる)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択(上段:町民、下段:中高生))



6 豊かな食生活への対応



7 農業を核とした新たな産業展開



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
地域特産品の開発	研究機関、大学等との連携による開発支援	平成21年度に会議所を中心に地域資源を活用したブランド作りを目的に、町内関係者及び東農大・食加技等のメンバーで美幌ブランド開発検討委員会を立ち上げ、町も支援等を実施してきております。	特になし	各関係機関・団体と協議し、今後の方向性を決定したい。
	地域特産品の現状把握と連携会議の設立	新たな連絡会議の設立は、していないが、関係団体（協会・会議所）と月1の定例会議を実施し、そこで、現状把握、意見交換を実施している。	特になし	今後も、継続し現状把握を図りたい。
地域特産品のPR、販売	地場産品等の販路拡大	平成25年度より、札幌市の道産食材を扱うアンテナショップ「HUG マート」に協会が窓口となり、事業者単独で出店している。（通年） また、協会ではネット販売を実施し、町外の方が購入しやすい体制づくりをおこなっている。	特になし	商品の販売実績等を踏まえ、協会を中心に今後の展開を協議したいと考えています。
	物産展・物産関連イベントの参加促進	これまで、物産展・物産関連イベントに参加する事業者に対して、経費の一部を助成し参加促進を進めてきました。平成26年度には、要綱の一部を変更し、道外の助成額を新たに設け、上限を15万円とし道外のイベントにも積極的に参加してもらえようしました。（道内10万円）	特になし	今後も、協会を中心に現状把握を実施し、事業者が参加することのサポートを続けていきたいと考えています。

(3) 意見、提案

☺ : 小学生 ♂ : 中高生 ♀ : 育児ママ ㊦ : 自衛隊 ㊮ : 高齢者 ● : 町民 ○ : 職員

【美幌町で好きなもの・こと】

- ☺ 食べ物がおいしい
- ☺ 美幌豚バーガー
- ☺ 肉がおいしい
- ☺ とうきび、じゃがいも、にんじん、ビートがすき
- ☺ レトルトカレー
- ☺ 野菜がいっぱいとれる（ビート、じゃがいも）
- ☺ 和牛
- ☺ まるまんましょうゆ

★ 美幌町をもっとPRしてほしい。美幌町の名物料理をもっとつくってほしい

★ 何か名産品を作るといいと思う

㊦ 美幌の高校生の活躍をもっとバックアップしてあげたらどうか。加賀屋さんではしょう油を使った料理を出したりしているが、町でももっとPRしたり、使うようにしては。道の駅で売っている弁当や、美幌の豚「美水豚」なども。

㊦ 美幌の特産の印象が薄い。ワインは町外の人から頼まれて買ったりするので知っているが。

㊦ 遠方の人には特産品としてアスパラやジャガイモを送る。

- 美幌は、肥沃な土地があるので、特産物を栽培して、利益を得て経済を豊かにし、本当に住みやすい町にして欲しい。（女性・70代以上）
- 特産品作りに、町ももっと関わってほしい。まるまんまは会議所、和牛カレーは農協、町は？と考えるとない気が…。（女性・10～20代）
- せっかくある特産品を、最近まで全く知りませんでした。町民が知らない特産品…アピール不足では？（女性・50代）
- 人を集めるための特産品やブランドの開発も必要になると思います。（男性・40代）
- 地域振興に取り組んでもらいたいと思います。私はそばを打ちますが、地元の立派なそば粉で、全国の有名店で美幌のそば粉が使用されています。是非、地元で提供出来る様に出来ないものでしょうか。以前はありました、そば祭を再開するとか？（60代）
- 特産品と言っても何があるのかわからない。美幌ブタとかブタしょう油とかあるけれど、高過ぎて一般では買う気になれない。（女性・50代）
- 美幌の特産品がわからないように思います。（女性・50代）
- 町ぐるみの、何十年も続く特産品を見い出す事です（女性・70代以上）
- 町の特産品の開発や町のPRをもっとするべきではないのでしょうか。今のままでは、人の集まらない、人の呼べない町になるのではないかと心配します。（男性・40代）
- 特産品を開発し、美幌町の知名度を上げる。（男性・50代）
- びほろ名産造りプロジェクト。びほろの有名・無名を10・20年後に名産にする。
- びほろ亜麻復刻計画。昔の特産品を利用して町の名産にする。工芸品（布）→食用油、オイル

- 北海道ブランドとしての美幌物産の取り組み
- 良いものがいろいろあるので、町と商工観光や農協などとうまく共同し宣伝PRしていく
- 美幌町では優れた農産物を生産しているものの、美幌と言えど問われた時に挙げられる農産物がないのではないのでしょうか。（例えば、北見と言えどタマネギ、夕張と言えどメロンのような）そこで、農産物に付加価値（より安全だとか、より美味しい、より栄養に富んでいるなど）が必要になってくると思います。また、このような農産物をいかに宣伝していくか。農産物の価値を上げることと、それ上手に宣伝していくことのバランスも重要と考えます。
- 新たな産業創設型・「新商品」、「新特産品」支援事業制度、（一般公募型）の創設。新たな農産物、加工品、木工品等々の新商品開発から新たな生産体制（新商品開発に必要な資材、小規模設備や新たな製造工程、流通形態の導入）にいたる、新たな経済効果（集客力や特産品化）が期待できる取り組みに対し、数年間、数十万円規模で全額補助する一般公募型事業を新設すべき。（採択条件に「グループ化」や明確な「費用対効果の明記」「希少価値」、「美幌オリジナル性」等を盛り込み、条件を満たしたもののみを採択）新たな経済効果を生むチャレンジ精神をあおる
- 美幌マルシェ。美幌産の農畜産物の販売拠点として、PRを図る。美幌高校との連携
- 現在、町外に向けての発信している感が強いホワイト・紫・グリーンアスパラについて、町民向けのサービスがあれば役場と町民の距離が縮まるとおもいます。また、道路植樹帯に自生しているアスパラも町民還元策としてどこかに集約して移植し収穫時期に来庁された町民に配布するような身近な政策としたい。すずめやカラスの糞が種を運ぶ結果となっているため博物館の展示や学校教育の理科の題材として身近な話題となるのでは
- ホームページ等を利用した、美幌特産品版のアズユーライク的なカタログ販売、町長等が町外で美幌の売り込みに使用できる。町外で結婚式を挙げる町民が引き出物に使える等の利用が見込まれる。
- 美幌町のPRする特産品をしっかりと決め、ブランド化し、全国的にPRを図る。（たとえば、「豚しょうゆ」など）現状では、和牛や豚など何を推しているか不透明。
- 地域で採れた食品を加工することで雇用を創出し町の施設で消費することで、町全体のフードマイレージを小さくし、エコタウンとなる。